

議会広報

かりば

第120号
平成19年7月



島牧保育所運動会

— 平成19年6月16日 —

おもな内容

► 第2回定例会

行政報告 2~3ページ

審議した議案と内容 3ページ

一般質問 3~11ページ

意見書の提出 11ページ

► 第2回臨時会 11~12ページ

いかということで、賛成に回ったわけなんですけれども、普通

この政治生命という言葉つてい

うのは、私自身、現藤田村長が

口にされたのはこれが初めてで、

最初で最後だろうと、自分では

そう記憶してあるんですけれど。

実際問題、この村のホームページ

にも6月13日ですか、医師募

集、これを出しましたけれども、

なんでこれが6月13日なんです

か。

議会の中でも色々と医師を2

人確保するのは大変だよとい

ことが随分心配されてきた中で、

村長は、もうちょっと待ってく

れ、もうちょっと待ってくれと、

少なくとも議会にも説明されて

ないし、当然村民にも説明もな

されてない。

3月の定例会なり、4月の臨時会でも充分、今この現状の説明が出来たわけですよ。なんでなさらないんですか。

昨年の7月の臨時会で村長自身が発せられた政治生命という言葉と、自分が判断して、この島牧診療所を医師2名体制で進むと、これらに対しまず説明をしてくださいよ。

村 長

医師2名体制についてでござりますけれども、今までで3件、

医師と接触いたしました。

その中でやはり勤務条件、ま

た報酬等の関係で折り合いがつかなかつたと、そういう経過がございます。

なお、今おります飯塚先生の

考え方ありますと、その考えに沿わないようなこともございま

した。

いずれにいたしましても、今

いる飯塚先生と一緒に持ちを

合わせて島牧の地域医療に携わ

れる先生が望ましいということ

で、色々財団等とも協議してございました。

当時は飯塚先生が責任を持つて、僕も探すというようなこと

でございましたけれども、マス

コミ等でご承知のとおり、非常

に医師の確保は厳しいと、そ

ういう状況になつてございます。

現在も、飯塚先生も本州のほ

うに色々声をかけて探してござ

います。うちのほうも財団に声

をかけてございます。

したがいまして、医師の確保

について色々努めているという

ことはご理解いただけると思

います。

また現在、診療所の診療体制

については、救急も含めまして、

村民に心配をかけないように、

24時間体制で対応している状況

でございます。

したがいまして、今の先生と代診医と、当面もう一人医師の確保が出来るまで、村が責任を

持つて対応して参ると、そういう予定でありますので、今後も

医師確保については全力を挙げて努めて参りたいと思いますの

で理解をいただきたいと思

ます。

再々質問

いま私は確かに2点、村長の考

えを伺つたというふうに自分で

は思つてるんです。

この政治生命をかけると言つた言葉の意味、それに対してもどう考えてられるのかと、医師

の問題は言つたつもりなんですか

けれど、ちょっと答弁漏れがあ

るなと思います。

ですが、この再々質問の中で

再度現状を考えると、私は確

に皆さんそれなりに気をつけて

おられると思いますけれども、

とくに村長として昨年の7月20

日の臨時会におけるこの言葉、

これは意気込みはわかるけれども、言葉の使い方としては適当ではないかと。

政治生命という言葉はすごく

重たいんですよ。このへんの村長の認識、僕は少し甘いんじゃないかなと。

その言葉の適当性と、本当に村民の健康、命の安全を考えるの

であれば、もっと速やかに医師

の現状をもつと議会なり、村民

に理解していただくような努力つ

していただいた飯塚先生にも、やはり心持ち良く1年でも長く置いてもらうためにも代診医とい

うことで緊急的にそういう対策

が判断された医師2名体制、確

かにいま國も道も医師不足とい

うことでも医師不足とい

うことで緊急的にそういう対策

が判断された医師2名体制、確

て必要なんじゃないでしょうか。この2点ちょっとお伺いします。

この医療につきましては、以前より申し上げておりますとお

り、人の命を預かる・見守る

うことで、私は一番大事なこ

とだと、村長の立場としてそ

うふうに思つております。

これはやはり、私は政治生命

をかけても医者を探さなきゃな

らないと、そういうつもりで今

まで進めております。

それは先ほど申し上げたとお

り今も変わっておりません。

したがいまして私も、4月、

5月と道に出た折には、道また

財団にも出向いて医師確保に努

めてございます。

私は自身も個人で埼玉、また東

京、それらの知つてることころに

色々情報収集をしてございます。

ですけれども、先ほども申し

ましたが現在の医師の状況、こ

れらについては想像以上に厳し

いものがございます。それらを

皆さんにご理解をいただきたい

と思います。

この医師の確保については、

先ほども申しましたが、現時
点では飯塚医師と代診医、これ
で24時間、村民に不安を与えた
いように村が責任を持つて対処

しておりますので、医師確保についてもうしばらく時間をいただきたいと、そういうことでご理解いただきたいと思います。

白
杵
議
員

1. 現状の認識について

任期の切れる村長に村民の関心や話題がもう集まっているなど、
そのように私は感じております。

元気な村を作りますよというあなたは、4年間そういう理念でやつてきたと思いますが、財政が破綻したという事例は他の町村にもございましたし、国の改革の波にもまれたとのことがあつたにせよ、村民からは財政的な不安や先の見えない苛立ち、あなたの思いが伝わってこない、そういう不満の声が以前よりまして多くなつたなどいうふうに私は感じています。

村民から不満の声が多くなつたということは、元気な村づくりとは反対になつてているんじゃないかなと、村長はどのようにお感じになつておられるか、まずお伺いいたします。

任期4年を振り返って、現状をどのように認識するかとのご質問ですが、私は村民皆様からの付託を受け、1期目4年間、全力を傾注して村政にあたって参りました。

任期中には行政改革の一環として事務事業の見直しをし、積極的に推進し、経費の節減を図り、厳しい財政事情の中、本日・豊浜・歌島地区浄水施設整備事業や各種生産基盤施設の整備を行い、生活環境の向上のた

め努力をして参りました。

また、村づくりのため永年にわたり活躍されてきた方々が高齢化する中、いつまでもふるさとで過ごしていくための施策として、各種福祉サービスの提供体制を整えるなど、高齢者福祉対策について、最優先課題として取り組んで参りました。

住民の皆様からは、多岐にわたりご要望やご批判を受けたましましては、住民サービスの向上を念頭に真摯に出来うる限りの

それに対する個人個人に、私のやつてることに、考えに賛同出来る方、また出来ない方、それはあるんではないのかなと、そういうふうに私は思ってござります。

したがいまして、村としてやる事業は村全体のことを考慮して事業なり、施策なりを進めて参りますので、そのへんはやはり住民の方にご理解をいただけないなど、そういうふうに考えてございます。

たり前じゃないですか。
責任って大事なんですよ。言
いつ放しで、ほおかぶりしてれ
ば、いつか忘れてくれるだろう
で済まされるあなたの立場でな
いってことを認識して欲しいん
ですよ。

それが政治的責任。その責任
も感じれないで、その答弁も出
来ないで、私はあなたにその資
格がないんではないかと、断定
的に言えますよ。

だからそういうことが積み重

は。それが任期が切れても関心が集まってるときに、またやりますって。責任がとれない人がやつたって、村民かわいそうですよ、これ。そう思いませんか。

まず自分のそういう責任をはつきりさせてから、なるほどなと思わせてからならいいんですけど、あなたの4年間を検証すれば、責任を伴う部分は私は3回も4回もありますよ。

(5)

対応をしてまいったと考えておりますのでご理解賜りたいと思います。

再々質問（要望）
あなたは公人ですよ、公人。
公約を掲げて、今村長になつた
んですよ。それに對する政治的
責任は重大なものがあるんです
よ。

なって、村民の不平不満になつてきてるんでないかなと私は認識してるんですよ。あなたが何をやるって言つたって、そんなの出来なかつたから知りませんよじや、何を信用すればいいん

再々質問（要望）

再々質問（要望）

なって、村民の不平不満になつてきてるんじゃないかなと私は認識してるんですよ。あなたが何をやるって言つたって、そんな

出した責任がある。

合併協議会。作ってくださいつて作ったんですよ。議会をバカにしてるんですか。議会に頼んで作ってもらつた。そしたら議会に報告して、納得して、了解得るのが趣旨でしょう。私はそういう責任もある。

医療問題。寿都と連携します。この前も言ったでしよう、ここで責任をとるべきなんですよ。責任をとれないで、色々あなたがやつてきたことありますつて言つたって、それは逃げですよ。私はそういう認識でいるんですよ。私はそういう認識でいるんですよ。

どうせ今質問しても、またそれに対する覚悟なんて出てこないなと思いますから。

でも私は、村民の人にも島牧の今一番悪いところがそこだと私は思つてるんですよ。

立場がある人、肩書きを持つ人は村民が悪いと思つたことをしても、ほおかぶりしているうちに忘れてくれるだろう、そういう風潮が今島牧にあるつていうのが一番の前進出来ないもとだと思ってるんですよ。それを解消していかなければ、どんなにあなたがやるって言つても、信用性もないし、信用出来ませんよ。

でもね、私はこの魚は腐つてると判断する。でも、まだ刺身で食べれるよっていう人が多いから、あなたは今立場にいれることは重大ですよ。政治生命をかけない人でも現職の大臣は首括ってるんですよ。そのくらい重たいんですよ、あなたは公人として。

るんですよ。私はそういう感じで捉えます。

議会が政治生命かけてやりなさいなんて一言も言つてませんよ。あなた自分の口から言つたんですからね。そこを明確にわ

村長

近隣町村との関係であります。が、ここ数年間に任意合併協議会の解消、あるいは救急医療問題など近隣町村と意見の一致を見ないことが重なりは致しましたが、対応策を講じることによりそれぞれ解決されており、行政連携上、関係の修復を求める状況にはないものと判断しております。

今後も広域的に取り組む事案が生じた場合には、住民サービスの向上を念頭に近隣町村と相互協力を進めて参りたいと考えておりますのでご理解賜りたいと思います。

今、そういう関係ないと答弁しましたよね。

今、そういう関係ないと答弁しましたよ。

近隣町村との関係はみんな連携してやってきましたね。それでも効率が悪いから合併のほうがもっと効率がいいんじゃないのか。

そしたら広域連合、これは財政負担を伴つてゐるんですよ。そういう時代の流れに一番大事なのは、近隣町村の関係だと思うんですね。隣の家とケンカして旅に行つたつて、すぐそんなのばれますよ。そういう意味からして、近隣町との関係について、村長の認識をまずお聞かせください。

かり易く、村民の方も私は質問する人いっぱいいますから。

あなた自身の良心に相談してみてくださいよ、人として。私はそれを強く言つておきます。

それが私は将来的に怖いなど、そのように思つています。

村長

先ほどの答弁ですけれども、この中で言つてるとおり、現時点では行政連携上、関係の修復を求めるものはございません。

したがいまして、今後も広域的に取り組む事案が生じた場合には、住民サービスの向上を念頭に近隣町村との相互協力を進めいくと、そういうふうに答弁しておりますので、何もこれから相互協力、連携等をしないといふ答弁はしてないんです。

これからも必要なものについては、近隣町村と相互協力していくと、そういう考え方でおりまますのでご理解いただきたいと思います。

では、近隣町村と相互協力していくと、そういう考え方でありますのでご理解いただきたいと思います。

これからも必要なものについては、近隣町村と相互協力していくと、そういう考え方でありますのでご理解いただきたいと思います。

再々質問（要望）

それでは、そういうのを島牧のほうから積極的に仕向けて、そういう関係の修復を図るような今状態になつてゐるではないかという心配をしますんで。

く、うちから積極的に進んで、特老も居住センターもいつまでも質問する方もいますけれど、特老も居住センターもいつ

町村と関係を深めていく部分に重点を置いていただかないといふも出来ないよ。時代は連携・連合の時代に入つてゐるんですよ。それが私は将来的に怖いなど、

いくよという姿勢もぜひお願ひして、2点目は終ります。

日 杆 議 員

3. 高齢者対策について

前に何かの資料に限界集落という言葉がございまして、部落の単位が保てない、これから益々増えてくるんじゃないかと思うので、そのへんについてはどういう対応を考えているか今聞きたいなと思います。

村 長

高齢者対策に関する考え方ですが、ご承知のとおり本村の高齢化率は35%を超え、質問者が指摘しておりますように限界集落になっている地区もございます。

誰もが自分の生まれ育った村で生涯を過ごしたいという気持ちちは同じであります。

少しでも長くその土地で生活するためには、地域での支え合いや公的サービスを提供して、お年寄りが安心して暮らしていくことが一番だと思っております。

公的サービスは、介護度のある高齢者にはそれ以上介護度が進まないようデイサービスや訪問介護を提供し、また介護サービスの提供を行い、1日でも長くお年寄りが自分らしい生活を続けられるよう支援することが基本であります。

そのため村として保健・福祉・医療体制の充実を図りながら、高齢者が安心して生活出来ますように限界集落になっている地区もございます。

村づくりが大切だと、そういうふうに考えておりましてご理解を賜りたいと存じます。

再質問（要望）

そういう網羅的なことではなく、もう少し、こういうことはこうしたいという考え方になります。

私は個人的に流れと同じで、原歌に栄浜をオープンにするとか、歌島を本目にオープンにす

るとか、自然自立をしたいと思つても出来ない人もいるでしょう。

そういう人に効率良いサービスを提供するために、村営住宅等を良くして、そこそこの「住」を集め、そういうふうになれ

ば空家もいっぱい増えてくると思ふんですよ。

そういうのをリサイクルして、

職員さんにそっちは移ってもらつて、高齢者をここに集めてとうような効率のいいものの考え方をしていかないと、ただサービスを提供するよう考えてますって言つたって、納得しかねるわけですよ。

だからあなたが、いくらマニアエストで色々やつても信用が出来ないっていうのが、まずくるんですよ。自分が言つた言葉にも責任とらないし、そういうことなんですよ。

それに、特に高齢者もそうです。これからお金のかからないことを考えていかなきゃならないと思ってるんですよ。

特に課長さん達にはぜひお願いしておきたいのは、いま徳島県の上勝町、焼却炉が駄目になつて新しいのを作れない。どうするか。ゴミを一つも出さない運動に取り組んでいる。女の課長さんですよ。

根気で、今は自分の出したゴミがリサイクルで活用されるって言って、喜んでやってくれるって町民が。これは画期的だなって。

財政も、夕張で視察に行くと1万5千円取るようになりますが、節約じゃないんですよ、改革をしながら、そして3百億の借金を払っていく。これは勉強になると思いますよ。

一般会計でそういう前向きな姿勢が入つていれば、すぐに手を挙げますよ、私は。

節約だけで乗り切れないっていうのが私の考え方で、今あなた

達の出す予算書の中の数字で、がりサイクルで活用されるって節約だけじゃ絶対に乗り切れませんよ。それが一番根底にあるんですよ。

昔は議会が行つて来いなんていう、議会は駄目ですよ。ほんとに現場でやるあなた達が勉強しないと。それを取り上げるトップが、責任があることを言つてもらわないと、前に進んでいかないんですよ。だから責任を言つてもらわないと、責任を言つてもらわないと、前に進んでいかないんですよ。私は。

そういうことも踏まえながら、ただやるやるだけでは信用出来ないことを申し添えて終ります。

佐 藤 議 員

1. 年金問題

現在、社会保険庁の不正な対応による年金問題がクローズアップされておりますが、島牧村では国民年金への加入者の割合が多いと思います。村内にも年金に対する不安を持たれている方が多数おられます。

現在は社保庁が年金の全体管理をしておりますが、以前は自治体ごとに国民年金の収納を行つて來ました。

そこで、年金について村民から何らかの問い合わせがあつたかどうか、また、村が収納の役割を果たしていた時代の記録はどうなつてゐるか、それから不安を少しでも解消するため、何らかの手段を考えておられるか、この3点についてお伺いさせていただきます。

も、憂慮すべき事と私自身も認

年金問題につきましては、老

後における生活を考える上から

問題となつております年金記

録につきましては、単に年金記録の照会や問合せについては1件、他には社会保険庁のサービスとして実施されている年金加入記録通知などが送付されてきておりますが、その内容等について、この問合せが2件ほどございました。

本村の年金加入者の7割強は国民年金加入者と考えておりますが、これらの方の年金は平成14年3月までは、村取り扱いで収納がなされておりましたが、この村収納分につきましては、被保険者記録名簿により大切に保管しております。

このことから、村での納付・免除等の年金記録については十分対応することができるものと思っております。

冒頭で申し上げましたように、この問題については大変重要な問題でありますので、社会保険庁でも色々対応しているところですが、住民の方々に不安を与えることがないよう、今後も小樽社会保険事務所と連携を密にして対応にあたりたいと考えておりますのでご理解いただきたく思います。

再質問（要望）

ありがとうございます。合計で3件問い合わせがあつたとい

うことと、内容的には村長、良く把握いただいてまして、それから自治体が収納していた時代の書類もなんと残っているということですので、村としての対応は出来るのかなというふうに思います。

最後にですね、ぜひ私の質問

にも、手段をこれから社保庁とご相談いただきながら受けられるものがありましたら、一般の方々は良く理解をされてない高齢者の方々もいらっしゃると思いますので、新聞またはメディアなどで今問題になつてます、こっちから行かなければ対応が出来ないということじゃなくて、積極的に安心をもたらしていただけるような対応策を、村としても社保庁等を通じて、どんどん進めていただければと思っております。

この問題についても、社会保険制度をつけていますので、よくお願いしたいと思います。

2. 広域連合

佐藤議員

広域連合がこの4月からスタートをいたしましたが、進捗状況と、国、道などの支援対策が何かあるのか、また、この中身について今後の見通しについてお聞かせ願いたいと思います。

村長

広域連合については、4月24日設立式が執り行われ、その後5月31日に初議会、6月8日に臨時議会を開催し関係条例などを審議が行われ、それぞれ原案どおり可決をされております。

なお、副連合長の選任同意案につきましては、次回以降の議会に持ち越されています。

6月8日をもつて全ての関係条例が整備されましたので、本年度から実施する税の滞納整理事務を始め、来年度開始予定の国・道などからの支援策についてであります。

そこで、運営費に係る支援策について、権限移譲に対する受け皿づくりということもあり、道から積極的な支援策を講ずる旨回答を得ております。そのほか、国からは介護保険システムの導入について支援を受けられる予定になっております。

また道では「地域再生交付金制度」を創設し、広域連合事務も対象にすることになっておりますので、これら制度を有効活用し、財源に充当してまいりました

職に、道の税務専門職員の派遣を受けるなど、広域連合の運営にあたって、既に道の積極的な支援を受けている状況にあります。

今後の見通しであります。

6月8日をもつて全ての関係条例が整備されましたので、本年度から実施する税の滞納整理事務を始め、来年度開始予定の国・道などからの支援策についてであります。

そこで、運営費に係る支援策について、権限移譲に対する受け皿づくりということもあり、道から積極的な支援策を講ずる旨回答を得ております。そのほか、国からは介護保険システムの導入について支援を受けられる予定になっております。

また道では「地域再生交付金制度」を創設し、広域連合事務も対象にすることになっておりますので、これら制度を有効活用し、財源に充当してまいりました

ただやはり一番懸念をするのが、今年度・来年度で運用されるものは決まっておりますけれども、具体的な中身の部分としては、広域連合として、本当にこれから10数項目ですか、まだ残つてゐる部分があろうと思ひます。

そこがスタートしなければ何も意味がないことでありますので、そのへんの状況について、もし今わかればご説明いただきたく存じます。

村長

先ほどの答弁で申し上げましたとおり、関係条例等は現在議決したと、副連合長はまだ持ち越されておりますので、それらが議決すべて終ったあとで、また新たな項目について連合で協議されるものと、そういうふうに思つてございます。

したがいまして、今現在残つてるものについて議員の皆様に説明したあと、いつ実施するとか、こういうのを先に実施するとか、そういうのはわかり次第、新たに出て来ておりませんで、そういうのはわかり次第、機会があるごとに議員の皆さん、また村民の皆さんに広報等を通じて積極的に公表したいと考えておりますのでご理解いただきたいと思います。

再質問

支援はある程度見通しとしているところでありますのでご理解を賜りたいと存じます。

支援はある程度見通しとして

はあるというふうに感じました

んですけれども、具体的な中身

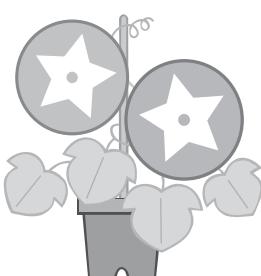
ではまだないのかなという、時

期的なものもあるうかと思いま

なお、連合事務局の税務課長

す。

ありがとうございました。合計



再々質問（要望）

まだその他の事業については、これからだということですから、ぜひ当村としても負担金等も生じているわけですし、なるべく早い段階で残りの項目について

実施をされるように、村長を始め、広域連合にご参加の方々にはご尽力をいただきたいなとうふうにご要望を申し上げて、この質問は終らせていただきました。

佐藤議員

3. 高齢者福祉対策

当村の高齢化が急速に進んでいることは言うまでもありませんが、自立（自宅）での生活が可能な方も、いずれなんらかの施設入居等の必要性にせまられる事と思っております。

特別養護老人ホームのみならず、当村の居住センターも待機者が多数おられると伺っておりますが、現状と今後の対応策について御思案があればお聞かせ願いたいと思います。

村長

高齢者福祉の現状と今後の対応策について、現状での施設関係の待機状況につきましては、

老人ホームの希望者が1名、居住部門の入居希望者が3名、介護施設関係での希望者が7名の状況であります。

介護施設関係での希望者のうち介護度4以上の方が3名、介護度3の方が1名、介護度2以下の方が3名となっております。今後の対応策としては、前者の質問でもお答えいたしましたが、高齢者ができる限り生まれ育ったところで生活できるよう、介護サービス・介護予防サービス。

再質問（要望）

今、村長のほうから早急に検討していただきたいというお話をございました。

高齢者の方が、かなり多くなっておりますし、これから村長の頭のほうにもありましたよう、更に多くなっていくでしょうということを考えますと、やはり準備というものが非常に大きくなります。

事かなと、急に進むことでもないですし。また、今後の経費削減についてであります。一般的に経常費の削減については、これからも努力して参りますが、ある程度の限界にきてるものもあります。

今後も行財政改革、事務事業の見直し等について、なお一層推進して参りたいと存じますので、ご理解お願いいたします。

ということをご要望申し上げまして、この質問を終りたいと思

います。

再質問

自ら出来ることは自らというお話をございましたけれども、実は私、この一般質問は私個人というよりも村民の方から不満がございまして、ぜひ話をしたいと思います。あえて申し上げませんけれども。

役場に連絡を取りましたが、その課に対応をしていただけなかつたと、誰もいませんでしたと、その課が草刈り等で全部出でていましたということがあとで報告がありました。

ということがありましたので、ぜひ聞いてみて欲しいということを受けて、やはりその課等が全部出ていた場合には、何らかの対応が出来るようなシステムを作つておくべきだと思うんで

4. 庁舎内業務のあり方について

現在、村職員におきまして、草刈りなどの対応をされておりますが、村財政の縮減のためにはやむをえない部分もあると考えます。これらの更なる経費削減のためにどのような事を検討されておられますか。

また、本来の庁舎業務に支障がでていないかということについてお伺いしたいと思います。

村長

佐藤議員

ん。

今年は4月に大幅な人事異動

であります。私は現在の地方自治体を取りまく厳しい財政状況の下、自ら対応出来ることは自ら実施して、少しでも経費削減を図ろうとの考えに立ち、出来る限り職員の理解を得ながら、府舎内の清掃や村道・林道の草刈り等についても職員の協力により実施しておりますが、これらについては全ての作業を職員で対応する考えではございませんのでご理解賜りたいと思います。

委託も行い、本来業務に支障をきたさないよう、対処する所存でありますのでご理解賜りたい

と思います。

また、今後の経費削減についてであります。一般的に経常費の削減については、これからも努力して参りますが、ある程度の限界にきてるものもあります。

今後も行財政改革、事務事業の見直し等について、なお一層推進して参りたいと存じますので、ご理解お願いいたします。

ということをございましたので、ぜひ聞いてみて欲しいということを受けて、やはりその課等が全部出ていた場合には、何らかの対応が出来るようなシステムを作つておくべきだと思うんで

やはりそれは縦割りの弊害といふものなかなというふうに思いましたし、それをもって村の方々が、直接役場のほうにクレームを申し述べたわけじゃないと思

いますけれども、実際にそういう事例もあったということです

から、このへんは簡単に解消出来ることだと思いますので、ぜひ新しいシステムの構築を、このへんを、自分でやることはやつていただくにしても、まずは住民あつての役場ですよと、職員ですよということを念頭におい

て対応していただきたいと思いますので、村長のそのお考えだけ最後にお願いしたいと思います。

村長

草刈り等、外部でする仕事につきましては、各課で一人残るようにしてございます。

ただその一人のうち、その課に関係ある仕事で出ることもござりますので、各課の横の連絡については、これからも密にす

るよう努めて参りますのでご理解いただきたいと思います。

瀬戸川議員

1. 「道の駅」地下の蓄養施設について

道の駅「よってけ！島牧」の地下に設置されております蓄養施設に関して、現在、6基ある水槽の内、稼動しているのは2基だけということを確認させていただいております。それについて村として、今後「道の駅」の地下における施設の運用について、どのように考へているのか、その点についてお伺いしたいと思います。

村長

道の駅「よってけ！島牧」

の地下水槽につきましては、現在、レストラン販売及び村内旅館民宿等に供給する蓄養施設として2基を稼動しております。

設置当初は、アワビ養殖またウニ・つぶ・貝類の蓄養施設

設として6基、魚類の蓄養に

2基を稼動しておりましたが、アワビ養殖の撤退と濾過槽や施設の老朽化などにより、需要に合わせた使用数に調整しております。

村としましては、道の駅

「よってけ！島牧」は新鮮な魚介類の販売施設として、村

つきましては、濾過槽や施設の老朽化による設備の補修など諸々の課題があるほか、電気代等のコスト面を考えたとき、現在の需要に対応した蓄養体制の充実を図ることが良いと考えておりますのでご理解を賜りたいと存じます。

再質問

ただいま村長のほうからの答弁がありまして、レストラン部門、また魚介類等、その他利用者の減少等ありました。

それに合わせて、需要に合わせた稼動を考えている、念

頭に入れていると、また年間について全施設の稼動とともに考へていません。

村長

設置当初は、アワビ養殖道の駅の利用客増の方策で

設として6基、魚類の蓄養に2基を稼動しておりましたが、アワビ養殖の撤退と濾過槽や施設の老朽化などにより、需要に合わせた使用数に調整しております。

ただいま村長のほうからの答弁がありまして、レストラン部門、また魚介類等、その他利用者の減少等ありました。

それに合わせて、需要に合わせた稼動を考えている、念

頭に入れていると、また年間について全施設の稼動とともに考へていません。

つきましては、濾過槽や施設の魚介類を、いま村長の答

つきましたけれども、その魚介類等をより多くの方にやはり利用・活用していただくといふことを念頭に販売する方策をしつかりと考へていかなきやならない。

その方策について、もしお考へがあればお聞きしたい、

それからまた飲食店組合の利

用者が現在2件のみと聞いておりますけれども、飲食店組合の利用者の減少について、

その理由がどこにあるのか、この点について確認されてい

るのであればお伺いしたいと

思います。

ただいま村長のほうからの答弁がありまして、レストラン部門、また魚介類等、その他利用者の減少等ありました。

したがいまして、そういう広域的な政策を利用して、今後も道の駅の入込みについて考えていくと、そういうふうに考えてございます。

また今、ご質問がございましたがいまして、そういうふうに考えてございます。

したがいまして、そういうふうに考えてございます。

すけれども、やはり一番大きな原因は観光客の入込み、この減少が大きいです。

したがいまして、先般も支

うなことがございました。

今回の一般会計の補正予算の中では、蓄養施設の整備工事費等が盛り込まれております。

それについて、施設の稼動向上に向けた対策として私は考えております。

その点についてはある意味

好ましいことと考えているん

ですけれども、施設整備され

ることによりまして、この施

設の魚介類を、いま村長の答

弁があつたように利用者が減

少していると、様々な話があ

りましたけれども、その魚介

類等をより多くの方にやはり

利用・活用していただくとい

ふことを念頭に販売する方策

をしつかりと考へていかなきや

ならない。

その方策について、もしお考へがあればお聞きしたい、

それからまた飲食店組合の利

用者が現在2件のみと聞いて

おりますけれども、飲食店組

合の利用者の減少について、

その理由がどこにあるのか、

この点について確認されてい

るのであればお伺いしたいと

思います。

したがいまして、金額の少

ない旅館民宿については今後

ますので、村長のそのお考えだ

け最後にお願いしたいと思いま

す。

そこで、観光客からも利用され、蓄養施設の果たす役割は大変大きなものと認識をしているところであります。

しかしながら、観光入込客の低迷などからレストラン部門の販売額が伸び悩み、また

内旅館民宿利用者の減少も併せ考えますと、これからの夏季繁忙期は1~2の水槽の稼動は見込まれますが、年間を通じて全水槽を稼動する需要は生じてこないものと推測しております。

つきましては、濾過槽や施設の魚介類を、いま村長の答

弁があつたように利用者が減

少していると、様々な話があ

りましたけれども、その魚介

類等をより多くの方にやはり

利用・活用していただくとい

ふことを念頭に販売する方策

をしつかりと考へていかなきや

ならない。

その方策について、もしお考へがあればお聞きしたい、

それからまた飲食店組合の利

用者が現在2件のみと聞いて

おりますけれども、飲食店組

合の利用者の減少について、

その理由がどこにあるのか、

この点について確認されてい

るのであればお伺いしたいと

思います。

したがいまして、金額の少

ない旅館民宿については今後

ますので、村長のそのお考えだ

け最後にお願いしたいと思いま

す。

そこで、観光客からも利用され、蓄養施設の果たす役割は大変大きなものと認識をしているところであります。

しかしながら、観光入込客の低迷などからレストラン部門の販売額が伸び悩み、また

内旅館民宿利用者の減少も併せ考えますと、これからの夏季繁忙期は1~2の水槽の稼動は見込まれますが、年間を通じて全水槽を稼動する需要は生じてこないものと推測しております。

つきましては、濾過槽や施設の魚介類を、いま村長の答

弁があつたように利用者が減

少していると、様々な話があ

りましたけれども、その魚介

類等をより多くの方にやはり

利用・活用していただくとい

ふことを念頭に販売する方策

をしつかりと考へていかなきや

ならない。

その方策について、もしお考へがあればお聞きしたい、

それからまた飲食店組合の利

用者が現在2件のみと聞いて

おりますけれども、飲食店組

合の利用者の減少について、

その理由がどこにあるのか、

この点について確認されてい

るのであればお伺いしたいと

思います。

したがいまして、金額の少

ない旅館民宿については今後

ますので、村長のそのお考えだ

け最後にお願いしたいと思いま

す。

そこで、観光客からも利用され、蓄養施設の果たす役割は大変大きるものと認識をしているところであります。

しかしながら、観光入込客の低迷などからレストラン部門の販売額が伸び悩み、また

内旅館民宿利用者の減少も併せ考えますと、これからの夏季繁忙期は1~2の水槽の稼動は見込まれますが、年間を通じて全水槽を稼動する需要は生じてこないものと推測しております。

つきましては、濾過槽や施設の魚介類を、いま村長の答

弁があつたように利用者が減

少していると、様々な話があ

りましたけれども、その魚介

類等をより多くの方にやはり

利用・活用していただくとい

ふことを念頭に販売する方策

をしつかりと考へていかなきや

ならない。

その方策について、もしお考へがあればお聞きしたい、

それからまた飲食店組合の利

用者が現在2件のみと聞いて

おりますけれども、飲食店組

合の利用者の減少について、

その理由がどこにあるのか、

この点について確認されてい

るのであればお伺いしたいと

思います。

したがいまして、金額の少

ない旅館民宿については今後

ますので、村長のそのお考えだ

け最後にお願いしたいと思いま

す。

そこで、観光客からも利用され、蓄養施設の果たす役割は大変大きるものと認識をしているところであります。

しかしながら、観光入込客の低迷などからレストラン部門の販売額が伸び悩み、また

内旅館民宿利用者の減少も併せ考えますと、これからの夏季繁忙期は1~2の水槽の稼動は見込まれますが、年間を通じて全水槽を稼動する需要は生じてこないものと推測しております。

つきましては、濾過槽や施設の魚介類を、いま村長の答

弁があつたように利用者が減

少していると、様々な話があ

りましたけれども、その魚介

類等をより多くの方にやはり

利用・活用していただくとい

ふことを念頭に販売する方策

をしつかりと考へていかなきや

ならない。

その方策について、もしお考へがあればお聞きしたい、

それからまた飲食店組合の利

用者が現在2件のみと聞いて

おりますけれども、飲食店組

合の利用者の減少について、

その理由がどこにあるのか、

この点について確認されてい

るのであればお伺いしたいと

思います。

したがいまして、金額の少

ない旅館民宿については今後

ますので、村長のそのお考えだ

け最後にお願いしたいと思いま

す。

そこで、観光客からも利用され、蓄養施設の果たす役割は大変大きるものと認識をしているところであります。

しかしながら、観光入込客の低迷などからレストラン部門の販売額が伸び悩み、また

内旅館民宿利用者の減少も併せ考えますと、これからの夏季繁忙期は1~2の水槽の稼動は見込まれますが、年間を通じて全水槽を稼動する需要は生じてこないものと推測しております。

つきましては、濾過槽や施設の魚介類を、いま村長の答

弁があつたように利用者が減

少していると、様々な話があ

りましたけれども、その魚介

類等をより多くの方にやはり

利用・活用していただくとい

ふことを念頭に販売する方策

をしつかりと考へていかなきや

ならない。

その方策について、もしお考へがあればお聞きしたい、

それからまた飲食店組合の利

用者が現在2件のみと聞いて

おりますけれども、飲食店組

合の利用者の減少について、

その理由がどこにあるのか、

この点について確認されてい

るのであればお伺いしたいと

思います。

したがいまして、金額の少

ない旅館民宿については今後

ますので、村長のそのお考えだ

け最後にお願いしたいと思いま

す。

そこで、観光客からも利用され、蓄養施設の果たす役割は大変大きるものと認識をしているところであります。

しかしながら、観光入込客の低迷などからレストラン部門の販売額が伸び悩み、また

内旅館民宿利用者の減少も併せ考えますと、これからの夏季繁忙期は1~2の水槽の稼動は見込まれますが、年間を通じて全水槽を稼動する需要は生じてこないものと推測しております。

つきましては、濾過槽や施設の魚介類を、いま村長の答

弁があつたように利用者が減

少していると、様々な話があ

りましたけれども、その魚介

類等をより多くの方にやはり

利用・活用していただくとい

ふことを念頭に販売する方策

をしつかりと考へていかなきや

ならない。

その方策について、もしお考へがあればお聞きしたい、

それからまた飲食店組合の利

用者が現在2件のみと聞いて

おりますけれども、飲食店組

合の利用者の減少について、

その理由がどこにあるのか、

この点について確認されてい

るのであればお伺いしたいと

思います。

したがいまして、金額の少

ない旅館民宿については今後

ますので、村長のそのお考えだ

け最後にお願いしたいと思いま

す。

そこで、観光客からも利用され、蓄養施設の果たす役割は大変大きるものと認識をしているところであります。

しかしながら、観光入込客の低迷などからレストラン部門の販売額が伸び悩み、また

内旅館民宿利用者の減少も併せ考えますと、これからの夏季繁忙期は1~2の水槽の稼動は見込まれますが、年間を通じて全水槽を稼動する需要は生じてこないものと推測しております。

つきましては、濾過槽や施設の魚介類を、いま村長の答

弁があつたように利用者が減

少していると、様々な話があ

りましたけれども、その魚介

類等をより多くの方にやはり

利用・活用していただくとい

も利用していただくよう、これからPRも必要だなと、そういうふうに考えてございますのでご理解いただきたいと思います。

再々質問（要望）

たがいの間で再答弁があつたわけなんですけれども、観光客の減少と様々要因があると、それから飲食店組合等の利用者も2件だけではなくて、使う割合が少ないというふうな

どの程度の価格を設定してやっているのか、ちょっと私は把握しておりますけれども、価格の面その他も含めて、やはり多くの方が利用・活用出来る施設の運用ということに努力されることを、私切に要望したいと思います。

4月24日付をもって許可となり同日広域連合設立式を執り行いました。

今後、後志グランドデザイ
ンの具現化のため、加盟自治
体一丸となり効率的な運営を行
って参りますので、ご支援のほどよろしくお願ひします。

運営については種々の課題を抱えているとのことで、3月30日開催の定期総会の成り行きを注目していましたが、事業報告での数字が不透明のことでの議案否決により、中組合長を含む理事4人、監事2人が辞任するという事が

をもつて退職したい旨の申出があり、本人の意思が固いため、これに同意しましたので、その旨ご報告します。

なお、後任の者が決定するまでの間、教育次長を職務代理者に充て、執行してまいりたいと考えておりますのでご

ことでした。その点について、今後やはり価格の面もあると

2. 島牧村農業協同組合の新執行体制について

3. 藤澤教育長の退職について

意見書の提出

次の意見書が可決され関係省庁へ提出しました。

卷之三

◎地方財政に関する意見書 ◎労働法制の拡充を求める意

◎特定健診・特定保健指導に関する意見書

下各役職を選出する運びとなつておりますが、4月19日に開催された広域連合準備委員会で議員選出にあたつての要請事項がありました。

要請の内容は、連合議員について、後技グランドデザ

島牧農協は、前組合長が経営から事務までほぼ一手に行っていたこともあり、新執行部からは色々な面で村に協力願いたい旨の支援要請が来ておりますが、当面、農家が営農が発足しております。

去る3月14日寿都生コンクリート
式会社様より、地域振興基金として30万円の寄付がありましたことをご報告します。

審議した議案と内容

◎後期高齢者医療制度の充実

◎道路整備に関する意見書

する方に解決にあたっていました
だきたいとのことで、特に
「議長」の選出をお願いした
いとのことでした。

対しての貸付を行うことで一般会計予算に補正計上しましたのでご了承願います。

▼平成18年度一般会計補正予算（第7号）

行政報告

平成19年第2回村議会臨時
会は、4月27日招集され、専
決処分の承認4件、条例改正
2件、物品購入契約の締結1
件、補正予算2件他の議案を
審議し、同日閉会しました。

行政報告

第2回村議会臨時会

ついては、本日追加上程さ
れます後志広域連合議会議員
の選挙にあたりまして、準備
委員会からの要請事項をご勘
案のうえ選出されるよう併せ
てお願いします。

要産業の一つである農業の振興のため、出来うる限りの支援をしていく所存ですので、今後の農協対策に対するご協力を賜りたいと存じます。

定及び不用額の整理
▼平成18年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
○全員賛成で原案承認
千六百一十七万八千円減額

18年度分医療費等の確定により
4千百万9千円減額

診療所医療機器の購入に係る契約の締結。

◎全員賛成で原案承認

▼平成18年度老人保健特別会計補正予算（第4号）

18年度分老人医療費等の確定により医療給付費等が減額のため

1千百79万9千円減額

◎全員賛成で原案承認

▼平成18年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

18年度分介護給付費負担金及びデイサービス委託料精算等の確定により

9百4万4千円減額

◎全員賛成で原案承認

▼条例改正

▼島牧村税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴う改正。

◎全員賛成で原案可決

▼島牧村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴う改正。

課税限度額の引き上げ。
課税限度額 53万円 → 56万円

◎全員賛成で原案可決

▼選挙
野議員が選出されました。

選挙

その他の議件

▼島牧村国民保護計画の報告

国民保護法に基づく島牧村

国民保護計画策定の報告。

2百90万3千円追加

◎全員賛成で原案可決

18年度会計において収支不足額が生じ繰上充用に対処するため、前年度繰上充用金等を追加

▼平成19年度老人保健特別会計補正予算（第1号）

18年度分介護給付費負担金及びデイサービス委託料精算等の確定により

1千13万2千円追加

◎全員賛成で原案可決

後志広域連合の運営経費負担及び新体制の島牧農協に対する運転資金の貸付

▼平成19年度一般会計補正予算（第1号）

後志広域連合の運営経費負担及び新体制の島牧農協に対する運転資金の貸付

1千13万2千円追加

◎賛成多数で原案可決

診療所医療機器の購入に係る契約の締結。

◎全員賛成で原案承認

▼平成18年度老人保健特別会計補正予算（第4号）

18年度分老人医療費等の確定により医療給付費等が減額のため

1千百79万9千円減額

◎全員賛成で原案承認

▼平成18年度介護保険事業特別会計補正予算（第4号）

18年度分介護給付費負担金及びデイサービス委託料精算等の確定により

9百4万4千円減額

◎全員賛成で原案承認

▼条例改正

▼島牧村税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴う改正。

◎全員賛成で原案可決

▼島牧村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴う改正。

課税限度額の引き上げ。

課税限度額 53万円 → 56万円

◎全員賛成で原案可決

▼島牧村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴う改正。

課税限度額の引き上げ。

課税限度額 53万円 → 56万円

◎全員賛成で原案可決

▼契約締結

▼物品購入契約の締結

議会の日誌

(自至 平成19年4月 平成19年7月)

[4月]

- 2日 保育所入所式
6日 小学校入学式
8日 北海道知事・北海道議会議員選挙投票日
9日 中学校入学式
17日 例月出納検査
24日 後志広域連合設立式 (俱知安町 議長)
25日 市橋修治を囲む会 (俱知安町 議長)
27日 第2回臨時議会、議員会総会、本日浄水場視察

[5月]

- 18日 後志支庁管内町村議會議長会臨時総会 (ニセコ町 議長)
18日 例月出納検査
31日 後志広域連合第1回臨時議会 (俱知安町 議長)

[6月]

- 2日 中学校体育大会 (副議長他)

▽今年は、降雪が少なかった割には雪解けが遅く、小女子漁も前年から一転しての不漁でした。これから他の魚種の好漁を期待したいところです。
▽議会での審議をより理解していだくため、みなさんの議会傍聴をお待ちしています。

5日 後志支庁管内町村等監査委員協議会定期総会・研究協議会 (洞爺湖町 長尾議員)

8日 戦没者追悼式 (生活改善センター 正副議長他)

10日 小学校運動会 (正副議長他)

11日 議会運営委員会 (正副議長)

16日 保育所運動会 (村田のりとし連合後援会観桜会(岩内町 議長))

18日 第2回村議会定例会 (第2回村議会定例会)

25日 後志総合開発期成会道内要望運動 (札幌市 議長)

26日～28日 後志総合開発期成会中央要望運動 (東京都 議長)

28日 例月出納検査

▽議会広報「かりば120号」をお届けします。

本号では、6月18日に開催された第2回定例会の審議内

容、一般質問を中心に編集しました。

ぜひご覧になって、村の方

針や議会活動に理解を深めていただきたいと思います。

議会広報に対するご意見、ご希望がありましたら遠慮なく議会事務局までご連絡ください。

編集おえて